

事務事業名	外国語教育支援事業	所属部	教育委員会	所属課	学校教育課
政策名	〈Ⅳ〉ふるさとを学び育つまち〈教育・文化〉	所属G	指導・支援G	課長名	伊藤 慶
施策名	〈26〉学校教育の充実	担当者名	堀江 篤史	電話番号	0854-40-1072
目的	児童・生徒	意図	基礎基本(知・徳・体)の発達を促し、生き抜く力を身につける。	(内線)	2283
基本事業	〈076〉すべての子どもにわかりやすい授業づくりの推進	予算科目	0:150:0:3	大事業名	教育推進事業
目的	児童・生徒	意図	学習意欲が高まる。	中事業名	外国語教育支援事業

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
児童・生徒	生の英語に接することにより、小学生はコミュニケーション能力の素地や初歩的な英語力を、中学生は会話力・英語力を高める
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 ☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返(R3 年度～) ☐ 期間限定複数年度 (年度～ 年度)	小中学校すべてに外国語指導助手(ALT)を配置し、小中連携を意識した取り組みを行う。
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R5年度実績(R5年度に行った主な活動)	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)
自治体国際化協会のJETプログラムによる外国語指導助手(ALT)を全小中学校へ配置	小中連携を意識し、令和3年度より「外国青年招致事業」と「小学校英語教育推進事業」を統合 JETプログラムによる外国語指導助手(ALT)を令和4年度より全学校へ配置するよう、関係機関と調整

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R3年度 (実績)	R4年度 (実績)	R5年度 (実績)	R6年度 (計画)
ア 外国語指導助手(ALT)人数	人	5	6	6	6
イ 英語指導助手(AET)人数	人数	2	0	0	0
ウ					
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳(R5年度決算)	② コストの推移	単位	R3年度(決算)	R4年度(決算)	R5年度(決算)	R6年度(計画)
報酬 20,493千円 旅費 982千円 消耗品費 100千円 修繕費 0千円 通信運搬費6千円 手数料 0千円 備品購入費105千円	財源内訳	国庫支出金	千円			
		県支出金	千円			
		地方債	千円			
		その他	千円	10,076		
		一般財源	千円	17,708	22,122	21,686
		事業費計	千円	27,784	22,122	21,686
						23,425

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	全小中学校にALTを配置し、ネイティブによる授業を展開。 令和4年度中に、4名のALTが任期満了により帰国し、5名のALTの新規受け入れを行った。
② 事業実施するうえでの課題	小中連携を図るため、令和4年度よりJETプログラムによる外国語指導助手(ALT)への一本化を図っているが、受入業務等における事務局職員への負担が増加している。
③ 課題解決に向けた改革改善等	事務局職員への負担を軽減するために、外国語指導助手(ALT)の生活サポート等を支援機関に一部委託することを検討する。